

日々徒然

何気ない出来事に心を寄せて

漫画と読書

幕別町立札内南小学校

教諭 高 畠 智哉樹



退職間近の私の少年時代には、漫画は、読んではいけけない、勉強ができなくなると言われる悪い存在でした。そのため、とりあえず本を読むことにしました。中学校では、中島みゆきに倣って図書室の本を全て読んだこともあります。

自分でもかなりの読書家のつもりでしたが、今やすっかり漫画ばかり読んでいます。漫画に出合ったのは中学生のとき、友達が「とにかく面白い」と貸してくれた「エースをねらえ！」で、そこからはまりました。それでもずっと読書家を買っていました。理由は簡単で、少年団や授業の準備を始めたのは教員になってからでした。理由は簡単で、少年団や授業の準備をしているとなかなかじっくり読書に取り組みなくなりました。まして子どもが生まれると、一人の時間を作れません。すると、自然に短時間で読める漫画に逃げていくようになってしまいました。

ただ、漫画から多くの知識を得たこともありますし、子どもたちと話を弾ませたことも多々あり、一概に悪い面ばかりでもないかなと思います。それにしても子どもたちの活字離れはなかなか深刻で、漫画すら読まない子どもも増えてきて、どう指導するのがよいのか迷います。

漫画で埋め尽くされた部屋を見て、退職後の充実した読書生活と、これまで楽しませてくれた漫画の最終回（特に ONE PIECE）を読むことを楽しみにしています。

変化への対応の難しさ

芽室町立上美生中学校

教諭 山 本 英 司



約30年前、私は板書ができるだけ見やすくできるように「羽衣チョーク」の蛍光チョークを自前で購入して使用していた。「羽衣チョーク」の会社は廃業してしまい、授業では BIG PAD とタブレット端末を使用するようになったことで、チョークを使うこともなくなった。ものすごい変化だ。

指導の在り方も変化している。他人や他教科との比較ではなく、個別最適な目標設定をした学びや、教師の考えるよい方向への誘導や強制ではなく、子ども一人一人が進む方向への最適なサポート、大人が好む「子ども」作りではなく、「子ども」が納得する成長が求められている。

当然、教育以外の面でも大きな変化が起きている。パワハラ、モラハラなどのハラスメントが多数認識され、たばこを吸っている人を見掛ける場面はかなり少なくなった。私は週に一度、FMラジオでパーソナリティをしているが、番組を始めた22年前に人気の中心だった洋画の観客は激減し、興行収入は邦画、特にアニメが上位を占めるようになった。最近の若者を調査した結果、映画を見る前に友人からネタバレをしてもらった方が安心して見に行ける人がかなり多くなっているようだ。

世の中が変化し、人の考え方が変わる中、それに対応できないと迷惑する人が出てくる。教育の場合は、子どもたちの将来に影響する。そして、この変化は今後更に加速していくだろう。

定年延長により勤務年数が5年間増えた。容赦なく押し寄せる変化にうまく対応して過ごしていけるよう、意識して過ごしていきたい。